



次代のダンスの創り手を育てる育成企画  
ここはあなたの創作の未来を切り拓くフィールド

(C)Joseph Marčínský

彩の国さいたま芸術劇場

# Dance Redirection

## ダンス・リダイレクション2026

彩の国さいたま芸術劇場では、近藤良平芸術監督のビジョンのもと、様々な角度からダンスの可能性を探りながら、技術だけではなく新しい舞踊表現を切り拓く思考力、創造性を兼ね備えたクリエイター育成企画「ダンス・リダイレクション」を2024年にスタートしました。

3年目を迎える2026年度からは、彩の国さいたま芸術劇場を拠点に、インプットとアウトプットの双方から、次代の振付家・表現者の育成を目指し、さらに発展したプログラムを展開します。

### INPUT

#### ワークショップ／集中セッション

第一線で作品創作を続けるアーティストの多様なアプローチを学び、作品創作のためのアイデアやクリエイティブな引き出しを増やします。

◆ローザス、アトラファイブ『和声と創意の試み』  
レポートワークショップ

2026年6月21日(日)9:30～11:30 <お申し込みは締め切りました>

◆湯浅永麻 夏期集中セッション

2026年8月3日(月)～9日(日) (8月6日(木)オフ) ▶▶詳細は裏面へ

### インサイト

NEW

経験豊かなアーティスト・振付家を国内外から招き、〈対話〉を通じた思考の深化、ダンスの創り手としての生き方を学び、考える貴重な機会です。

◆アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルとの対話

2026年6月20日(土)11:30～12:30 ▶▶詳細は裏面へ(6月19日締め切り)

### OUTPUT

#### スタジオフェロー

NEW

劇場が選抜した若手クリエイターにリサーチの場や技術面・創作面でのアドバイスを提供し、新たな身体言語や創作手法との出会いのため、劇場が伴走するプログラムです。稽古場での試演会や専門家によるフィードバックを経て、作品創作、発表、発信を目指します。

「スタジオフェロー」として2026年度から複数年をかけ支援するのは、これまで「ダンス・リダイレクション集中セッション」や「彩芸 Blossom」にも参加してきた女屋理音／room. Onaya RionとVon・noz(上村有紀、久保佳絵)の2組。彼らの挑戦にどうぞご注目ください。

◆女屋理音／room. Onaya Rion

◆Von・noz(上村有紀、久保佳絵)

▶▶2組のプロフィールはHPにて

主催・企画制作：公益財団法人埼玉芸術文化振興財団(彩の国さいたま芸術劇場)  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁  
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan



(C)Anne Van Aerschot



(C)藤田亜弓



(C)Anne Van Aerschot



(C)Fukuko Iiyama



(C)齊藤優作

#### ダンス・リダイレクション登録アーティスト募集

募集期間：随時 対象：ダンサー、振付家、身体表現に携わるアーティスト・学生、クリエイター

対象年齢：16歳～40歳 登録料：無料 ※定員は特に設けておりません。

【登録アーティスト特典】劇場主催公演におけるさまざまなご案内、ワークショップ、リハーサル見学などのご案内をご登録のメールアドレスに不定期でお送りします。

【ご登録方法】QRコードよりご登録フォームへアクセス、必要事項をお送りください。



お問い合わせ

彩の国さいたま芸術劇場 (舞踊担当)

Email: workshop@saf.or.jp

Tel: 048-858-5500 (代表)

(休館日を除く10:00～18:00)

# INPUT インサイト～アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルとの対話

## 彩の国さいたま芸術劇場×愛知県芸術劇場

若い世代のダンサー、振付家、身体表現に関心のある他ジャンルの表現者、クリエイターの皆さまを対象に、舞踊界の先達との〈対話〉に誘う新企画「インサイト」。

初回として、ローザス、アトラファイブ『和声と創意の試み』公演で来日する、振付家アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルを迎えることが急遽決定！ダンス史にその名を刻む世界的アーティストとの〈対話〉を通じた思考の深化、ダンスの作り手としての生き方を学び、考える貴重な機会です。  
※トークは英語で行われます(日本語通訳付)。

共同開催：愛知県芸術劇場



**日時：2026年6月20日(土)11:30～12:30 会場：彩の国さいたま芸術劇場 大稽古場**

**ゲスト：アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル(振付家・〈ローザス〉主宰)**

**聞き手：浜野文雄(新書館『ダンスマガジン』編集委員)**

対象：16歳～40歳のダンサー、振付家、身体表現に携わるアーティスト・学生、クリエイター

参加費：無料

※ローザス、アトラファイブ『和声と創意の試み』埼玉公演(6月19日～21日)及び愛知公演(6月24日)のチケットをお持ちの方のみお申込みいただけます。トーク当日、チケットの購入を証明できるもの(チケット本券、チケットれすQ画面等)をご提示ください。

【お申込み方法】右のQRコードからお申込みフォームよりアクセス、必要情報をお送りください。

※応募者多数の場合は先着順とし、お申込み期限より前に締め切る場合があります。

**6月19日(金)締め切り**



# INPUT 湯浅永麻 夏期集中セッション

## 「創作の現場から | クリエイション・ワークショップ」



ネザーランド・ダンス・シアター (NDT) での活動から現在のフリーランスとしての活動まで、湯浅がイリ・キリアン、マッツ・エック、クリスタル・パイト、サシャ・ヴァルツ、シディ・ラルビ・シェルカウイ、ダミアン・ジャレ×名和晃平、ピーピング・トム、岡田利規など、さまざまな振付家やアーティストとの創作を通して培ってきた経験を共有します。

自身の作品づくりのプロセスも交えながら、アイデアやコンセプトを身体表現へと発展させる方法を探究します。ウォームアップでは、アヌーク・ファン・ダイクが考案したカウンターテクニックを取り入れ、身体や空間への意識を深めながら創作の土台を築きます。参加者それぞれが持つ発想やテーマを動きへと展開する過程に取り組み、最終日にはショーイングとトークを通して成果を共有します。

**日時：2026年8月3日(月)～ 9日(日)10:00～17:00予定**

**会場：彩の国さいたま芸術劇場 大稽古場**

※8月6日(木) オフ ※8月9日(日) 16:00～ショーイング実施(ポストトーク含め約1時間半予定)

※タイムスケジュール、プログラム等はやむをえない事情により内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

講師：湯浅永麻(ダンサー・振付家) ※原則、全日程参加できる方。 ※ダンス経験のジャンルは特に問いません。 ※対象外の年齢の方は相談可。

対象：16歳～40歳のダンサー、振付家、ジャンルを超えて身体表現に関わる表現者、クリエイター

参加費(税込)：25,000円 定員：20名程度

【お申込み方法】右のQRコードからお申込みフォームよりアクセス、必要情報をお送りください。

※応募者多数の場合は書類選考させていただきます。 ※結果は7月中旬(予定)までに、応募者全員に通知します。

※定員に余裕がある場合のみ、締切後でも受け付けます。

**7月10日(金)締め切り**



彩の国さいたま芸術劇場

# Dance Redirection

ダンス・リダイレクション2026

ダンス・リダイレクション2026  
ポータルサイトはこちら▶▶

